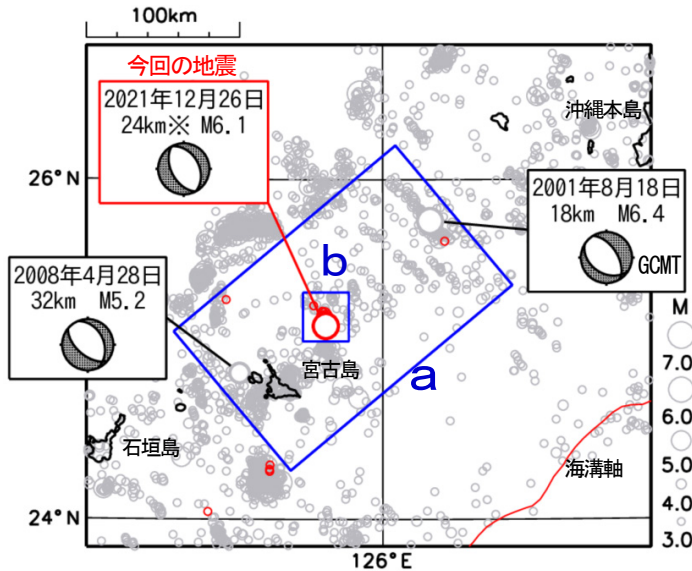


12月26日 宮古島近海の地震

震央分布図

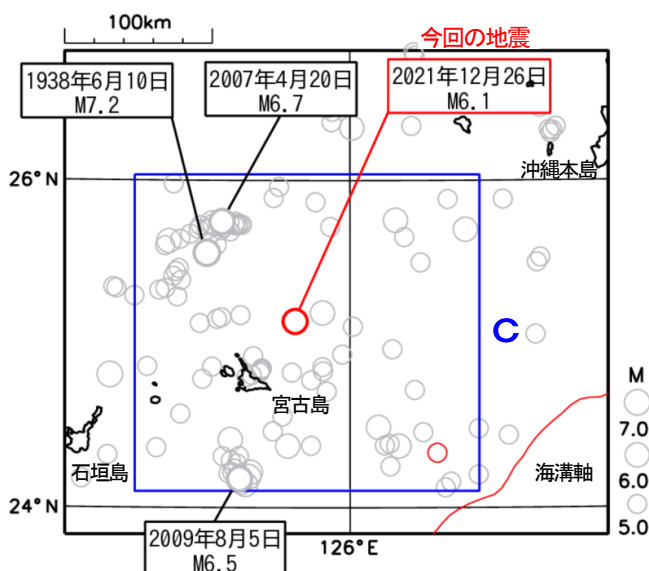
(2000年7月1日～2021年12月31日、
深さ0km～60km、 $M \geq 3.0$)
2021年12月の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解



※今回の地震の深さはCMT解による。

震央分布図

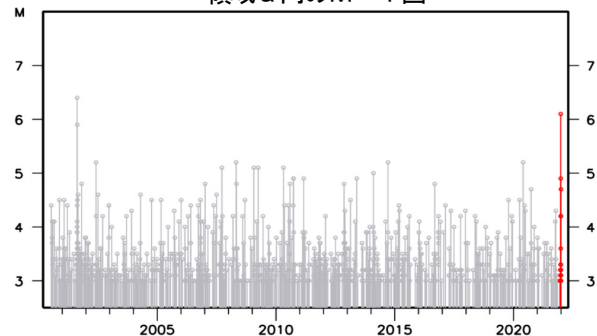
(1919年1月1日～2021年12月31日、
深さ0km～100km、 $M \geq 5.0$)
2021年12月の地震を赤く表示



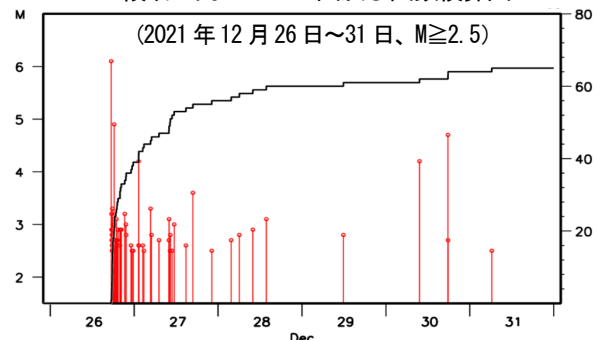
2021年12月26日17時26分に宮古島近海の深さ24km（CMT解による）でM6.1の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が東北東－西南西方向に張力軸を持つ正断層型で、陸のプレート内で発生した。この地震の震央付近では、31日までに震度1を観測する地震が4回発生している。

2000年7月以降の活動をみると、M5.0以上の地震が時々発生している。今回の地震の震央周辺（領域a）では、2001年8月18日にM6.4の地震（最大震度3）、2008年4月28日にM5.2の地震（最大震度4）が発生している。

領域a内のM-T図

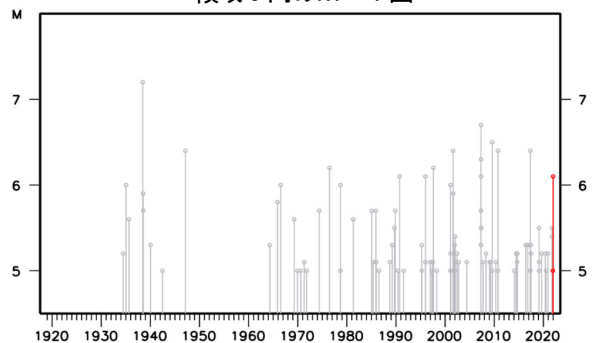


領域b内のM-T図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）ではM6.0以上の地震が時々発生している。そのうち、1938年6月10日に発生したM7.2の地震（最大震度4）では、宮古島平良港で1.5m程度の津波が目撃されており、桟橋の流出などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域c内のM-T図



（この期間は検知能力が低い）

※本資料中、2001年8月18日の地震の発震機構はGlobal CMTによる。